

■ 周囲温度による影響

基準周囲温度

ブレーカの定格電流は、周囲温度40℃を基準として調整しています。(一部機種は25℃)

周囲温度と定格電流

① 熱動式、および熱動-電磁式の場合

周囲温度の変化により、最小引外し電流値が変わります。これは引外し素子としてバイメタルを使用しているためです。

周囲温度が基準周囲温度と異なる場合は、温度補正曲線により定格電流を補正する必要があります。**図2**

② 完全電磁式の場合

周囲温度が変化しても定格電流は変化しません。周囲温度の変化によりダッシュポット内のシリコンオイルの粘度が変わり動作時間が変化します。

図3

③ 電子式の場合

周囲温度の変化により、定格電流・動作時間ともにほとんど変化しません。

図2 熱動-電磁式の温度補正曲線

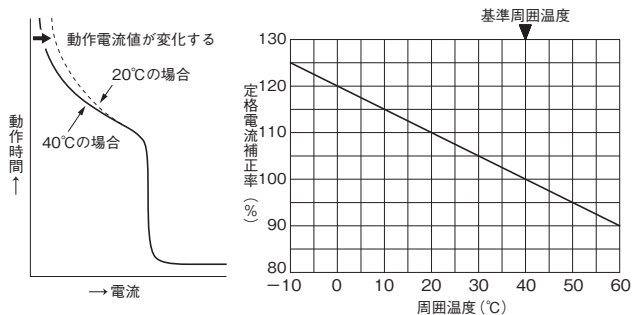


図3 完全電磁式の温度補正曲線

